
第 5 回ワークショップについて

ワークショップの進め方

次第

- ワークショップってなにをする？
- 柏原駅周辺まちづくりワークショップの全体イメージ
- 第5回ワークショップの進め方〈ワーク〉

■ ワークショップってなにをする？

ハード・ソフト施策に関する事項

- 対象地区のまちづくりに必要とされる都市機能や市民目線でのアイデアについて意見を取入れること

産官学等の多様な関係者の連携（エリアマネジメント）に関する事項

- 共通の課題解決に向けてアイデアを出し合い、実際に社会実験などを通して手や足、口を動かしながらお互いの考えについて学び、協働で目標達成へ向かうこと
- 柏原駅東地区のほか、駅西側の地区のまちづくりに関係する主体、本地区のまちづくりに興味をもつ個人や団体、教育機関等が連携する流れをつくること

■ ワークショップってなにをする？

定義

- 参加者が主体的に活動する場であり、体験型の講座やグループワーク、研究を行う



■ 柏原駅周辺まちづくりワークショップの全体イメージ

イメージ

第1回

- 地区の長所・短所を考える
- 活動に使える公共空間を共有する

第2回

- まちの人たちにとっての理想の暮らし方を思い描く

第3回

- 理想の暮らし方を実現するための環境を考える

●● (例：商店街の通り) で

●● (理想の暮らし)

ができる

●●のある

●●な場所

イスがある

広場がある

まちの賑わいを歩いて楽しめる

にぎやかな

屋内のバックヤードがある

座る段差がある

静かな

談笑しながらくつろいでいる人たちがみられる

いいところ
悪いところ

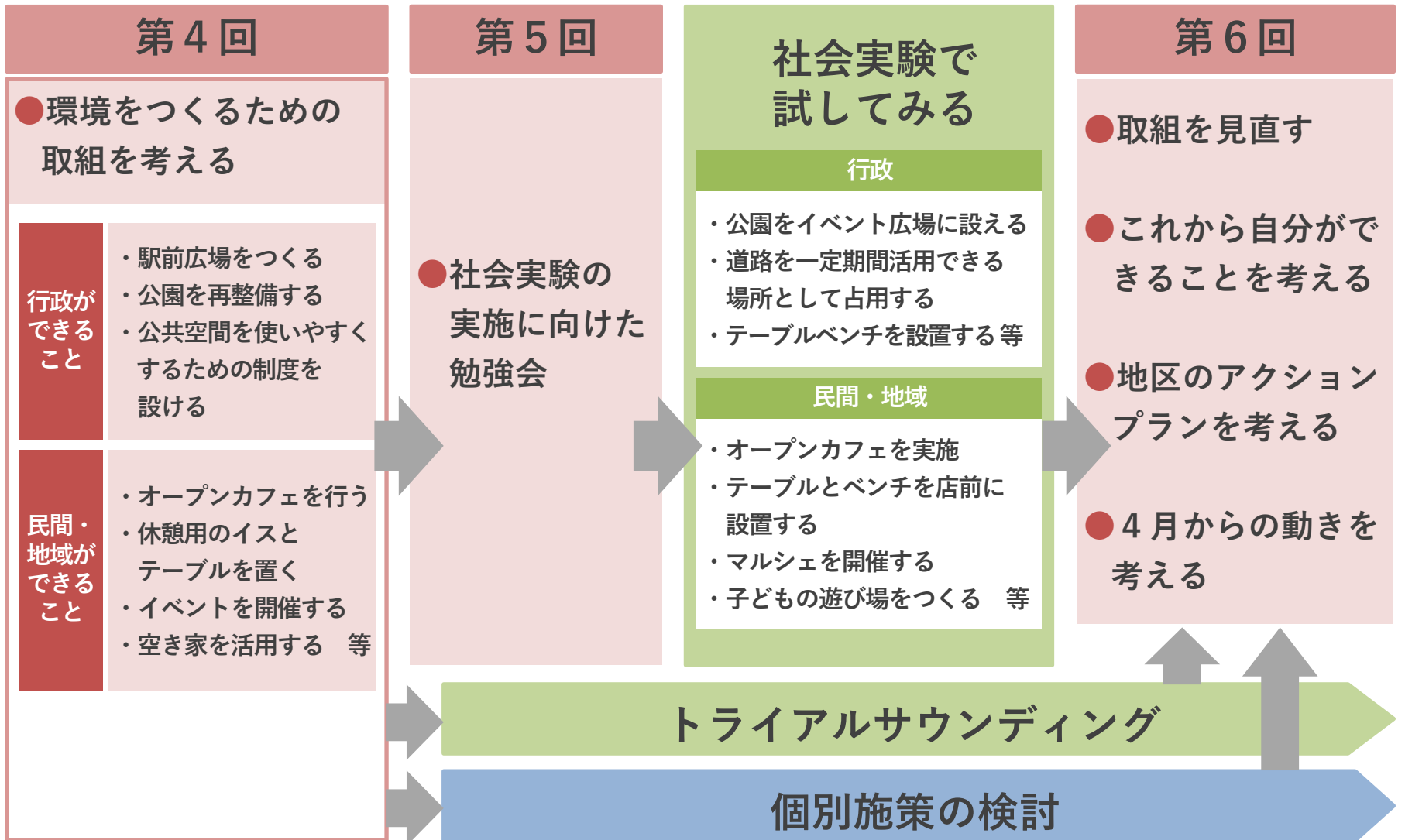
理想の暮らし方

活動できる
場所



■ 柏原駅周辺まちづくりワークショップの全体イメージ

イメージ



■ 第5回ワークショップの進め方〈ワーク〉

WS内容

社会実験やトライアルサウンディングの内容を考える

- 「理想の暮らしのシーン」を実現するために、柏原駅周辺の各活用場所でやってみたい内容を考えます。
- 自分がどのように参加できるのかも考えながらアイデアを出し合しましょう。

社会実験までにすること

- 行政は、ワークショップで出された意見をもとに、実験ができるように空間を整えたり、安全面や運営の仕組みを準備します。
- 市民や事業者は、自分がどのように関わるかを考えたり、仲間を見つけたりしながら、当日に向けての役割や協力の方法をイメージしていきます。

社会実験当日にすること

- 市民や事業者は、参加者として体験したり、運営や出店などで関わったりしながら、実際にその場所をどう使えるかを一緒に確かめます。
- 行政は、安全や運営をサポートしながら記録を取り、実験の成果を次の取組につなげます。

第5回ワークショップの進め方〈ワーク〉

STEP 1

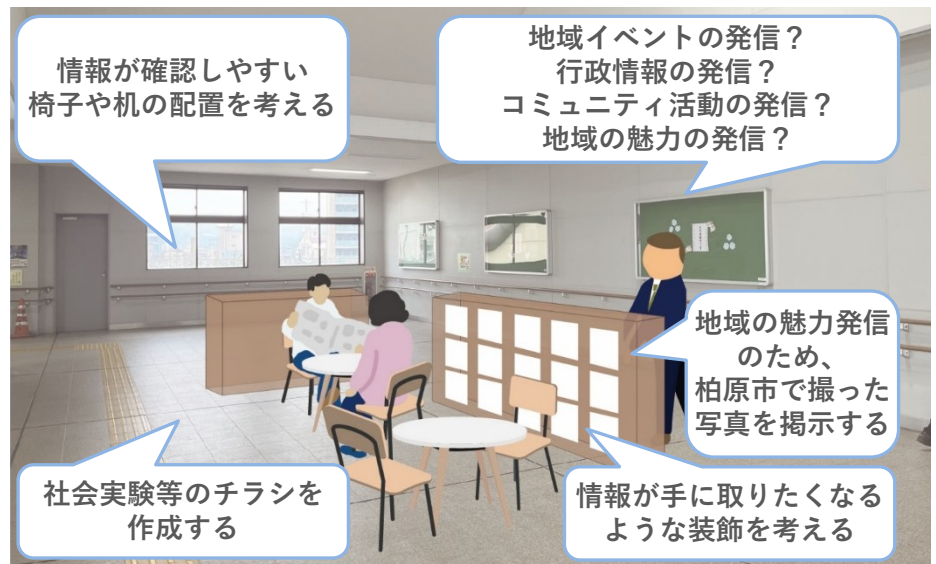
社会実験やトライアルサウンディングの案を 考えてみる

社会実験やトライアルサウンディングにおいて、「だれが・どこで・なにをする・自分はどうやって関わるか」を考え、ワークシートに記入します。

〈ワークシートの記入例〉

【ワークシート】

だれが？	私		が
どこで？	場所は	①柏原駅	の
	具体的には	JR柏原駅構内2階コンコース	で
いつ？	平日/日中や通勤時間帯		
なにをする？	どのような情報のチラシを置くか考える		する
自分は どうやって 関わる？	チラシをセレクトして配架する		

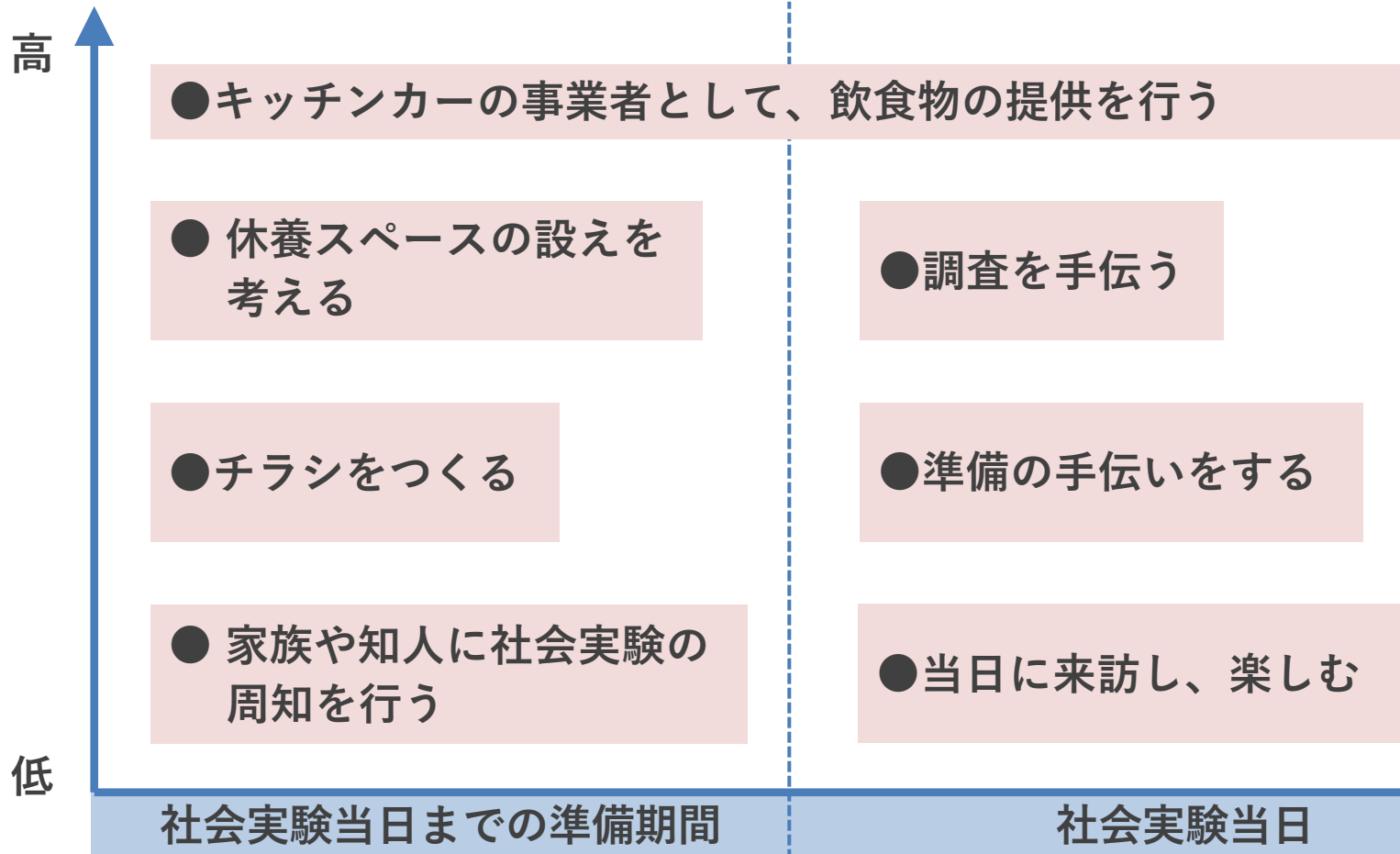


■ 第5回ワークショップの進め方〈ワーク〉

社会実験への参加イメージ（例）

まちづくり（社会実験）への関わり方は様々です。以下に参加のイメージ例を示します。

関わり度合い



■ 第3回ワークショップの進め方 〈ワーク②〉

STEP 2 グループメンバーへ共有

グループ内で各自発表をしていただきます。



STEP 3 共有・振り返り

各テーブルの代表者より発表していただきます。

